

各務原市教育委員会  
事務事業点検・評価（外部評価）  
（令和5年度事業）

令和6年8月  
各務原市教育委員会

## I. はじめに

### 教育委員会事務事業の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。

各務原市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施し、その結果をまとめた。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II. 点検・評価の実施方法について

### 1. 点検・評価の対象

令和5年度に教育委員会が実施した事務事業の内、対象事業の執行状況について点検・評価を実施する。

### 2. 点検・評価の進め方

#### （1）自己評価

教育委員会事務局において、評価基準を参考に自己評価を行う。

#### （2）外部評価

点検評価にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会事務局が実施した点検・評価の結果について、4名の事務事業点検評価委員から個別に所見等を聴取する。

#### （3）総合評価・報告

評価委員の所見等及び教育委員会委員から総合的な意見を踏まえて報告書としてまとめ、議会に報告した後、市ウェブサイトにて公表する。

### Ⅲ. 点検・評価（総括）

#### 1. 自己評価

令和5年度に実施した教育委員会の事務事業の内、主要事業について、自己評価を行い、結果は下表の通りであった。

|      | ◎  | ○  | △ | × |
|------|----|----|---|---|
| 必要性① | 17 | 1  | - | - |
| 必要性② | 15 | 3  | - | - |
| 効率性  | 8  | 10 | - | - |
| 有効性  | 9  | 9  | - | - |

| 今後の方向性 | 拡充・重点化 | 現状どおり | 見直し | 縮小・整理 | 廃止・休止 |
|--------|--------|-------|-----|-------|-------|
|        | 1      | 17    | -   | -     | -     |

#### 2. 総括

今回の点検・評価は、教育委員会の権限に属する事務事業のうち主要なものを抽出して行った。点検・評価にあたっては、単年度の評価に留まらず、事務事業の経年的な比較分析を重視し、効率的、効果的に執行されているかを確認した。

また、従前より評価を受け改善等に取り組んできた事業のほか、新たに11事業を対象事業とし、18事業について、点検・評価を実施した。

各事務事業は、各務原市教育ビジョンに掲げる基本理念「笑顔があふれる元気なまちへ～心豊かで文化を育む人づくり～」の実現に向け、概ね適正に実施されており、市民の願いや実態をより踏まえた事業が多く展開されている。

#### 以下、評価委員の総括・評価

・今回の事業に限らず、本市の教育委員会で行っている事業の多くがここ10年間に立ち上げられた事業であったり、改善されたりしたもので、子どもたちや市民にとって大切な事業になり、しっかりと根付いたものになっているものばかりである。全体的に誇れる事業になったものもある。こうした事業を継続発展させていきたい。

・教育方針の下でしっかりと各事業が進められている。学校に関しては学校長のカラーを生かせる柔軟さを感じた。

・縦の繋がりだけではなく、横の繋がりも大切にして各事業を進めていただけると、更に良くなるのではないかなと思う。

・「課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性」がより具体的に示されているほど、一つずつ課題が解決し、次に繋がっていくのではないかなと思う。

・年度ごとの評価に対して、できることはすぐ実行しており、小回りが利いて素晴らしい。パンフレット類も徹底した見直しで、誰でもわかりやすいものになっているものもある。各学校の情報機器更新（タブレット含む）や建替基本方針、新総合体育館建設等重要事項が多いと思われる。実効力ある教育委員会を期待する。

### 3. 評価基準

| 視 点    |                                       | 判 定    |                                                    |
|--------|---------------------------------------|--------|----------------------------------------------------|
| 必要性①   | 事業の目的が市民ニーズや上位の目的に照らして妥当か             | ◎      | 事業の目的が市民ニーズや上位の目的に照らして非常に必要性の高い事務事業である             |
|        |                                       | ○      | 事業の目的が市民ニーズや上位の目的に照らして必要性の高い事務事業である                |
|        |                                       | △      | 事業の目的が市民ニーズや上位の目的に照らして必要性の低い事務事業である                |
|        |                                       | ×      | 事業の目的が市民ニーズや上位の目的に照らして必要性のない事務事業である                |
| 必要性②   | 教育委員会・行政の関与の在り方から見て、教育委員会・行政が担う必要があるか | ◎      | 教育委員会・行政関与の必要性が非常に高い事業である                          |
|        |                                       | ○      | 教育委員会・行政関与の必要性が高い事業である                             |
|        |                                       | △      | 今後は民間・国・県の関与を拡大すべき事業である                            |
|        |                                       | ×      | 今後は民間・国・県が主体的に行うべき事業である                            |
| 効率性    | 投入された予算や人員等の量に見合った効果が得られるか、また実際に得られたか | ◎      | 事業を推進する上で行政資源量を節減できない                              |
|        |                                       | ○      | 効果がより少ない予算・人員等で得られる、または同一の予算・人員等でより大きな成果が得られる余地がある |
|        |                                       | △      | さらなる予算・人員等が節減できる、または同一の予算・人員等でより大きな効果が得られる余地がある    |
|        |                                       | ×      | 予算・人員等がかなり節減できる、または同一の予算・人員等で大きな効果が得られるかなり余地がある    |
| 有効性    | 事業実施により期待される成果が得られるか、または実際に得られたか      | ◎      | 期待以上の成果がある（今後さらに向上の見込みがある）                         |
|        |                                       | ○      | 期待した通りの成果がある（今後向上の見込みがある）                          |
|        |                                       | △      | 期待したほどの成果が見られない                                    |
|        |                                       | ×      | 成果が少なく今後も向上の見込みがない                                 |
| 今後の方向性 | 必要性・効率性・有効性の評価を踏まえた事業の方向性             | 拡充・重点化 |                                                    |
|        |                                       | 現状どおり  |                                                    |
|        |                                       | 見直し    |                                                    |
|        |                                       | 縮小・整理  |                                                    |
|        |                                       | 休止・廃止  |                                                    |

## IV. 点検・評価（事業別）

### 事業一覧

※第3期教育振興基本計画（教育ビジョン）に掲載している事業の内、対象事業について、評価を受ける。

#### 基本目標1 学校教育の充実

| 基本施策           | 主要事業                   | 事業番号 |
|----------------|------------------------|------|
| たくましく生き抜く力の育成  | 各務原サイエンスアシスタント推進事業     | 1    |
| 安心して学べる教育環境の提供 | 学校経営振興事業               | 2    |
|                | 不登校対策事業                | 3    |
|                | コミュニティ・スクール事業（地域資源の活用） | 4    |
| 学校等施設・設備の充実    | 校舎給水管更新事業              | 5    |

#### 基本目標2 青少年教育の充実

| 基本施策      | 主要事業       | 事業番号 |
|-----------|------------|------|
| 地域の教育力の向上 | 青少年育成活動事業  | 6    |
| 家庭の教育力の向上 | 家族ふれあい体験事業 | 7    |
| 体験学習の充実   | 中学生海外派遣事業  | 8    |
|           | 自然体験学習推進事業 | 9    |

#### 基本目標3 学びの機会の充実

| 基本施策       | 主要事業       | 事業番号 |
|------------|------------|------|
| 生涯学習の充実    | 生涯学習団体支援事業 | 10   |
| 図書館サービスの充実 | 図書資料充実事業   | 11   |

#### 基本目標4 文化芸術の振興と歴史・文化遺産の保護、利活用

| 基本施策           | 主要事業              | 事業番号 |
|----------------|-------------------|------|
| 文化芸術活動の充実      | 文化・芸術活動支援事業       | 12   |
| 歴史・文化遺産の保護と利活用 | 埋蔵文化財普及啓発事業       | 13   |
|                | 歴史ボランティアガイドサービス事業 | 14   |

#### 基本目標5 スポーツの振興

| 基本施策      | 主要事業                | 事業番号 |
|-----------|---------------------|------|
| スポーツ機会の創出 | かかみがはらシティマラソン事業     | 15   |
|           | スポーツスクール事業          | 16   |
| スポーツ施設の充実 | 各種スポーツ施設改修等整備事業     | 17   |
|           | 新総合体育館・総合運動防災公園整備事業 | 18   |

# 令和5年度事業点検・評価シートの見方

|         |                               |                 |                                                                                 |                      |              |
|---------|-------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------|
|         |                               | 新型コロナウイルスの影響の有無 |                                                                                 | 新型コロナウイルスによる影響の有無を記載 |              |
| PLAN・DO | 事業番号                          |                 | IV. 点検・評価（事業別）の事業番号欄の番号を記載                                                      |                      |              |
|         | 基本施策                          |                 | 教育ビジョンは5つの基本目標ごとに基本施策と主要事業を定めて体系化しており、基本施策と事業名を記載                               |                      |              |
|         | 事業名                           |                 |                                                                                 |                      |              |
|         | 事業目的                          |                 | 事業の目的及び内容を記載                                                                    |                      |              |
|         | 事業内容                          |                 |                                                                                 |                      |              |
|         | 達成指標                          |                 | 教育ビジョンの指標、または各課で定めた指標を記載<br>指標は数値目標など客観的指標のほか、市民の満足度などの主観的指標や事業の質の向上を目指す指標などがある |                      |              |
|         | 達成指標の成果                       |                 | 指標の成果を記載                                                                        |                      |              |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                 | 予算または決算見込み額（決算後は確定額）を記載<br>（）内は国県費等の特定財源がある場合に記載                                |                      |              |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                 | 前年度に、評価委員からいただいた意見や指摘に対して改善した事項を記載<br>また、外部評価対象外であった事業は各課で業務改善した内容を記載           |                      |              |
|         | 実績・成果                         |                 | 実績・成果を記載                                                                        |                      |              |
| CHECK   | 自己評価                          | 必要性①            | 評価基準に基づき自己評価を記載                                                                 | 評価理由                 | 自己評価の評価理由を記載 |
|         |                               | 必要性②            |                                                                                 |                      |              |
|         |                               | 効率性             |                                                                                 |                      |              |
|         |                               | 有効性             |                                                                                 |                      |              |
|         |                               | 今後の方向性          |                                                                                 |                      |              |
|         | 外部評価委員の知見                     |                 | 点検評価委員会からのご提言やご意見を記載                                                            |                      |              |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                  |                 | 令和5年度を終えての課題を記載                                                                 |                      |              |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                 | 課題を踏まえて、次年度に取り組むことを記載                                                           |                      |              |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 無     |
| 担当課名            | 学校教育課 |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|         |                               |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |                                                        |                    |         |  |
|---------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------|--------------------|---------|--|
| PLAN・DO | 事業番号                          |                                                                                                                                                                                                                | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    | 担当課名                                                   |                    | 学校教育課   |  |
|         | 基本施策                          |                                                                                                                                                                                                                | たくましく生き抜く力の育成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 事業名                           |                                                                                                                                                                                                                | 各務原サイエンスアシスタント推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 事業目的                          |                                                                                                                                                                                                                | 科学への興味関心や確かな学力の定着を図り、児童の可能性を広げる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 事業内容                          |                                                                                                                                                                                                                | 各小学校に、理科授業の準備・片付け、学習支援、教材教具の工夫、理科室及び理科準備室の整備等を行う各務原サイエンスアシスタントを配置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 達成指標                          |                                                                                                                                                                                                                | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 令和3年度              | 令和4年度                                                  | 令和5年度              | 令和6年度   |  |
|         |                               |                                                                                                                                                                                                                | サイエンスアシスタントの配置状況<br>授業の実験準備、片付け支援等による教師の負担軽減の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 達成指標の成果                       |                                                                                                                                                                                                                | サイエンスアシスタントの配置100%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | サイエンスアシスタントの配置100% | サイエンスアシスタントの配置100%                                     | サイエンスアシスタントの配置100% |         |  |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                                                                                                                                                                                                                | 2,575千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 2,575千円            | 2,575千円                                                | 2,575千円            | 2,575千円 |  |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                                                                                                                                                                                                                | ・サイエンスアシスタントの取組を他校にも広げている。<br>・実験や観察で困ったことがあれば、直接指導主事に問い合わせを入れるようにアナウンスしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |                                                        |                    |         |  |
| 実績・成果   |                               | ・市内小学校（17校）すべてにサイエンスアシスタントを配置している。<br>・各小学校における理科専門の教員の配置や、管理職の異動に伴うサイエンスアシスタント配置事業の内容の理解等、学校の状況が毎年変わるため、その状況に応じて効果的に活用している。<br>・実験中の安全確認を行ったり、実験・観察の準備及び片づけをしたりするなど、実験を行う上で様々なサポートをしてもらっているおかげで、実験や観察が充実している。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |                                                        |                    |         |  |
| CHECK   | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                                                                                                           | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 評価理由               | 専門としない教員へのアドバイスや実験準備によって児童生徒が安全に正しく観察、実験に取り組むことができている。 |                    |         |  |
|         |                               | 必要性②                                                                                                                                                                                                           | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    | 観察実験の指導・助言を教育委員会が行う必要がある。                              |                    |         |  |
|         |                               | 効率性                                                                                                                                                                                                            | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    | すべての理科の授業で支援に入ることはできないため、限られた授業時間で支援いただいている。           |                    |         |  |
|         |                               | 有効性                                                                                                                                                                                                            | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    | 児童生徒の理科に対する興味関心の向上、教師の観察実験準備片付け等の負担軽減につながっている。         |                    |         |  |
|         |                               | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                         | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                    | 各小学校からの報告を受けている中では、最低でも現状を維持していくことが必要となる。              |                    |         |  |
|         | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                                                                                                                | ・小学校の理科授業については教科担任制が進み、より専門性の高い授業がなされるようになってきており、実験の準備や片付け、資料集め（動植物の採集等）にも時間がかかるようになる。そのため、アシスタントが配置されていることは、教える側にとっても学ぶ側にとっても大変有意義なものである。<br>高校の実験助手のように専門性が高いアシスタントが配置できれば、T2（授業補助）としても活用できる。そうした人材を確保していくとさらに充実していくと考える。また、最近はICTの活用も理科では増えていると思うので、そうした技能に対応できるようアシスタントに対して教育委員会で一括した研修も進めていただきたい。<br>・サイエンスアシスタントの存在は授業がスムーズに進むと思うので良い事業だと思う。ただし、授業が始まる前の準備は、アシスタントに任せきりでなく、子ども達で準備ができる事はやらせた方が良いと思う。手取り足取り学校側が整えてあげることで、率先して手伝うような子どもたちの姿を期待する。<br>・全員が理科のスペシャリストではないとのことであるため、各学校との差が大きくなりすぎないように、努めていただけるとよい。<br>・高く評価する。年度初めの校長、教務主任、教科担任の打合せや授業前の教科担任との打合せが行われているとのことである。 |                    |                                                        |                    |         |  |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                                                                                                                | ・指導主事が学校訪問し、各学校の活用状況を把握し、必要に応じて活用法の助言やサイエンスアシスタントと学校との調整役になり、活用につなげている。<br>・サイエンスアシスタント同士でいつでも相談できる関係を築き、その場を設定することが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |                                                        |                    |         |  |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                                                                                                                | ・サイエンスアシスタント研修会を実施する等、アシスタントの困り感等を表出させ、解決策を交流していく。また、ICTの活用例など理科の授業に活かすことができる技能を身に付ける研修も行っていく。<br>・各学校において、サイエンスアシスタントの配置を計画的に行うことで、教師もサイエンスアシスタントも見通しをもった支援を実現できるようにする。そのために、1カ月の予定を踏まえ、どの授業の支援に入るのか決めるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                    |                                                        |                    |         |  |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有   |
| 担当課名            | 総務課 |

|                                 |                               |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|---------------------------------|-------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------|--|----------|--|
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業番号                          |        | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  | 担当課名                                                |                                                                                                                                             | 総務課                                                 |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 基本施策                          |        | 安心して学べる教育環境の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 事業名                           |        | 学校経営振興事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 事業目的                          |        | 各学校の予算執行に関する裁量権を拡大し、自主的自立的な学校運営を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 事業内容                          |        | ・学校経営予算…各学校が重点とする事業に対し、経常的な配当予算とは別に予算を交付する。<br>・児童生徒のための予算…児童生徒が主体的に立てた計画や児童生徒が提案する独自課題への取組に対し、経常的な配当予算とは別に予算を交付する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 達成指標                          |        | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 令和3年度                                               |                                                                                                                                             | 令和4年度                                               |  | 令和5年度                                                  |  | 令和6年度    |  |
|                                 |                               |        | 各学校の事業評価において「質の向上に努めた」事業数を増やす                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 達成指標の成果                       |        | 【学校】118事業<br>○94、△16、×8<br>【児童生徒】66事業<br>○56、△7、×3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  | 【学校】138事業<br>○120、△10、×8<br>【児童生徒】72事業<br>○65、△6、×1 |                                                                                                                                             | 【学校】144事業<br>○129、△10、×5<br>【児童生徒】70事業<br>○66、△3、×1 |  | 【学校（小規模特認校含む）】150事業、○145、△4、×1<br>【児童生徒】62事業、○61、△1、×0 |  |          |  |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |        | 9,769千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  | 9,709千円                                             |                                                                                                                                             | 9,634千円                                             |  | 10,780千円                                               |  | 10,000千円 |  |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |        | ・全校ヒアリングを実施し、学校長から学校経営についての思いや学校の課題に対する解決策として当交付金を活用したい旨直接ヒアリングし、交付することができた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 実績・成果                         |        | ・各校において事業計画の創意工夫がみられ、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ前に近い水準の活発な事業運営がなされた。<br>・家庭学習の充実や、タブレット等ICT機器の活用促進等、学校が抱える課題や学校長の願いを具現化する事業が実施された。<br>・今年度に限り小規模特認校（稲羽東小学校・緑苑小学校）に対して、小規模・少人数だからこそ細やかな指導が実践できるよう学校経営予算を別途交付した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                          | 必要性①   | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  | 評価理由                                                | 学校の裁量権拡大と自主的な学校運営を行うため必要性が高い。また、各学校が重点とする事業計画を執行するための予算であり、行政の予算的な支援が必要である。<br>児童生徒のための予算についても、子どもたちが主体的に計画を立てて、児童会や生徒会の委員会活動を実施することができている。 |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 |                               | 必要性②   | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 |                               | 効率性    | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                                     | 物価の高騰等により、当初計画した価格で物品の購入が困難になった事業があったが、他事業からの流用をするなど、臨機応変に対応ができた。                                                                           |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 |                               | 有効性    | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                                     | 昨年度より事業の質が向上したと回答した事業が増えており、有効性は少し向上している。                                                                                                   |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 |                               | 今後の方向性 | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |                                                     | 令和5年度以降もウィズコロナで事業が実施できるように学校を支援する必要がある。                                                                                                     |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 外部評価委員の知見                     |        | ・学校や児童、生徒会の経営や活動の特色を生かすためにも、財源の支えがあることは大変ありがたく、先進的な取り組みだと考える。公教育は平等であることが原則ではあるが、創意工夫に応じて軽重を付けることには問題を感じない。切磋琢磨することも大切である。ただし、成果を交流する発表の場や機会を義務とすることが大切である。他校が何をやっているかどうか予算を無駄なく活用しているかを可視化していかねば、ただのバラマキになる恐れがある。市内全体にも広報紙で特集するなど頑張りを是非とも紹介してほしい。<br>・各学校の自主自立的な学校運営をすることで切磋琢磨した学校運営が期待される。小規模特認校に関してはオンライン授業などで小規模ならではの教育がなされ、他地域の子とも達との交流も深まり、今後の少子化に向けてモデルになっていくものと思う。<br>・大変良い事業であるため、今後も継続できるとよい。そのためにも、監査より指摘を受けている点については、改善できるよう努めていただけるとよい。<br>・情報モラル教育について、学校間で温度差があってはならないため、各学校に対する教育委員会の主導的な役割を求める。 |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                  |        | ・監査より指摘を受けている経費の支出事務について見直し検討が必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |        | ・事業の目的を正しく理解したうえで事業計画を実施するよう、引き続き各学校への意識づけを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |                                                     |                                                                                                                                             |                                                     |  |                                                        |  |          |  |



# 令和5年度事業点検・評価シート

|         |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |                                                                                   |                                              |         |
|---------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|
|         |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     | 新型コロナウイルスの影響の有無                                                                   | 有                                            |         |
| 事業番号    |                      | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     | 担当課名                                                                              | 学校教育課                                        |         |
| 基本施策    |                      | 安心して学べる教育環境の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |                                                                                   |                                              |         |
| PLAN・DO | 事業名                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 不登校対策事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                     |                                                                                   |                                              |         |
|         | 事業目的                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 様々な理由から長期にわたって登校できていない児童生徒に対して、家とは別の居場所を提供する。教育センター“すてっぷ”や教育支援センターあすなろ教室とともに、保護者等の相談の窓口のひとつとして、さくらを設置する。<br>各自の抱える心理的課題を軽減するとともに、自分の興味のあることを行う活動を通して、自分のよさ可能性に気づき、社会的自立に向けて一歩踏み出す自分づくりを支援する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                     |                                                                                   |                                              |         |
|         | 事業内容                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通室する児童生徒の活動の見守りや補助を行うコーディネーターを1名、支援員を1名配置する。<br>・不登校児童生徒への居場所を提供する。（環境設定）<br>・不登校児童生徒への寄り添い、活動の支援を行う。<br>・家庭や学校、教育委員会（学校教育課・教育センターすてっぷ・あすなろ教室）、子ども家庭支援課等と連携する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                     |                                                                                   |                                              |         |
|         | 達成指標                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和3年度               | 令和4年度                                                                             | 令和5年度                                        | 令和6年度   |
|         | 達成指標の成果              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 令和2年度新設のさくらの周知を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | さくらの周知を図り、居場所を提供する。 | さくらまえみやの周知を図り、居場所を提供する。                                                           | 長期不登校状態にある児童生徒に対し、相談活動、居場所づくり、社会的自立への支援等を行う。 |         |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 2,139千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1,246千円             | 39,099千円                                                                          | 4,571千円                                      | 5,154千円 |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の態様や個々の状況が多様化しており、教育支援センター（あすなろ教室・さくら・ココカラ）を保護者へも広めている。</li> <li>・長期欠席が続いている児童生徒が家から一歩踏み出せる場所として、「さくらまえみや」の利用者は増えている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                     |                                                                                   |                                              |         |
| 実績・成果   |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の「さくら」は、毎月20人以上の児童生徒が利用しており、家庭から一歩外に出て、活動する居場所となっている。</li> <li>・「学びの部屋ココカラ」は、利用者が9人の月もあった。自分で決めた学習を自分のペースで静かに進められる環境となっている。</li> <li>・利用している児童生徒は、自分の好きな時間に通室し、自分が興味のあることを自分で選択して過ごしている。家から外に出て、家族以外の人と関わる中で、少しずつ自分自身のよさに気づいたり、自信をつけたりしている。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |                                                                                   |                                              |         |
| CHECK   | 自己評価                 | 必要性①                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価理由                | 令和5年度の不登校児童生徒は510人で、小学生、中学生ともに増加しており、家以外の安心して過ごせる居場所が求められている。                     |                                              |         |
|         |                      | 必要性②                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     | 教育委員会が家や学校以外の居場所となる教育支援センターを設置することで、不登校児童生徒が一歩踏み出し、個々の状況にあった場所を選択することで社会的自立につながる。 |                                              |         |
|         |                      | 効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     | コンセプトの異なる様々な教育支援センターを提供することで、本人や保護者の物理的・精神的負担の軽減に繋がっている。                          |                                              |         |
|         |                      | 有効性                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     | 自分で活動を決め、取り組むことで、エネルギーをためたり、自信をつけたりし、学校への登校につながるケースも増えている。                        |                                              |         |
|         |                      | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 拡充・重点化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                     | 通室する児童生徒が少しでも社会とつながれる場を提供できるように、今後も拡充・重点化を図る。                                     |                                              |         |
|         | 外部評価委員の知見            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校にもその理由は多種多様であり、その程度も対応も人それぞれであることは分かってきた。よって、1本ではなく複数の道を提示している本市の取り組みは評価できる。ただ、不登校対策ではなく不登校対応事業になっているのではないかと。対策と対応をしっかりと分けて考えなければ不登校は減っていかない。不登校の要因を探り、ならない環境、仲間、相談活動など準備軍を減少に導くことが対策ではないか。不登校児童生徒のニーズや状況に合わせて多様な選択肢を与え、改善を図っていくことと同時進行していくことも考えていただきたい。また、長期的には岐阜市の草湊中学校のような学校（公立のフリースクール）も視野に入れていく必要もあるのではないかと。</li> <li>・身近にも不登校だった子どもの親がおり話を聴く機会がある。当事者は本当に悩ましいことだが、子どもの居場所を選択し、自分の興味が湧くことが見つかれば、将来の職業に繋がる例もあるため、希望を持って子育てができる環境作りが大事だと思う。保護者にも勇気、希望を与えてほしいと思う。</li> <li>・分かりやすくまとめられた案内や広報紙への掲載等、保護者・市民への周知という点では、大変努力されている。小学校及び中学校入学のタイミングで、保護者へ周知できる機会があるとよい。</li> <li>・不登校対策として、あすなろ教室、さくら、ココカラ、すてっぷの言葉を聞くことは多い。各小中学校の「心の教室・学習活動室」も同じようにPRしていけるとよい。</li> <li>・リーフレットが非常に分かりやすい。</li> <li>・障がい者地域支援協議会協議会等関係部署とより一層の連携を願う。</li> </ul> |                     |                                                                                   |                                              |         |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 無     |
| 担当課名            | 学校教育課 |

|                                 |                               |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業番号                          |                                                                                                                                                                              | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                          | 担当課名                                                 | 学校教育課                                    |                                          |
|                                 | 基本施策                          |                                                                                                                                                                              | 安心して学べる教育環境の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|                                 | 事業名                           |                                                                                                                                                                              | コミュニティ・スクール事業（地域資源の活用）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|                                 | 事業目的                          |                                                                                                                                                                              | 各中学校区に学校運営協議会を設置することで、地域からの提案と学校からの提案が相互利益となり、地域全体で子ども達の育成に取り組む機運を醸成するとともに、小中連携を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|                                 | 事業内容                          |                                                                                                                                                                              | ・市内全中学校区に学校運営協議会を設置する。<br>・学校運営協議会を中心とした地域全体で、9年間を通した子ども達の育成を支える活動を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|                                 | 達成指標                          |                                                                                                                                                                              | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和3年度                                    | 令和4年度                                                | 令和5年度                                    | 令和6年度                                    |
|                                 |                               |                                                                                                                                                                              | 全中学校区に学校運営協議会を設置                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域連携や学校間連携を推進する取組の実施 | 各務原特別支援学校区に学校運営協議会を設置                                | コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域連携や学校間連携を推進する取組の実施 | コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域連携や学校間連携を推進する取組の実施 |
|                                 | 達成指標の成果                       |                                                                                                                                                                              | 100%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 100%                                     | 100%                                                 | 100%                                     |                                          |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                                                                                                                                                                              | 2,401千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2,363千円                                  | 2,391千円                                              | 2,739千円                                  | 3,150千円                                  |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                                                                                                                                                                              | ・各学校運営協議会の情報共有や市の方針を確認する場として、各務原市コミュニティ・スクール連絡協議会を開催した。各中学校区学校運営協議会長と学校代表により、実践の交流や意見交換を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                          |                                                      |                                          |                                          |
| 実績・成果                           |                               | ・学校運営協議会を中心として、地域の方による学校教育への参加があり、地域の方の知識・技能を生かした交流が、児童生徒の技能の向上や、共に学ぶ喜びの実感につながっている。<br>・中学校区での連携した取組を通して小中連携が強化されるとともに、地域全体が願う子ども達の姿の共有が図られている。<br>・各学校区の強みを生かした特色ある取組を実施した。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                          |                                                      |                                          |                                          |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                                                                         | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 評価理由                                     | 子ども達を取り巻く環境は多様化しており、広く地域全体で子ども達の育ちを支える必要性が高まっている。    |                                          |                                          |
|                                 |                               | 必要性②                                                                                                                                                                         | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                          | 9年間及び地域全体で子ども達の成長を支えていく方向性を、各学校運営協議会に広げる必要がある。       |                                          |                                          |
|                                 |                               | 効率性                                                                                                                                                                          | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                          | 概ね交付金等を有効に活用して各中学校区で取組が進められた。                        |                                          |                                          |
|                                 |                               | 有効性                                                                                                                                                                          | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                          | 地域に貢献する体験を通して、地域への愛着を深めたり、地域全体で子どもに対する願いの共有が図られたりした。 |                                          |                                          |
|                                 |                               | 今後の方向性                                                                                                                                                                       | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 地域とともにある学校の意識が定着してきたため、今後も継続して活動を実施していく。             |                                          |                                          |
|                                 | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                                                                              | ・各校区で着々と進められているコミュニティ・スクールが、地域の特色を活かして進められ、成果も出ていることを知り、今後益々充実していくことを願っている。今回、中央中校区のリーフレットを見たが、進捗状況がよく分かるものであった。副題に（地域資源の活用）とあるので、そこに住む人材活用だけでなく、そこにある自然環境、遺跡、企業・事業所なども含め、地域にある資源全体を活かすことが大切ではないか。従来からそこにある各種協議会等（福祉や青少年育成）との連携について、これもまた有効な地域資源であるので活用（共存）していったほしい。<br>・未来を担う子どもたちの存在は本当にかげがえのないものだと思う。地域の様々な知識、技能を活かした交流は更に広げていったほしい。これは大人にとっても有意義な事で、子どもたちは社会の宝物という意識で育成していただきたい。<br>・コミュニティ・スクールの周知と活用をより活性化していく必要がある。<br>・活動内容について自治会回覧があり、児童生徒の地域、学校、家庭で言われてうれしかった言葉が掲載されており良かった。 |                                          |                                                      |                                          |                                          |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                                                                              | ・各学校区の取組について情報共有し、各運営協議会の実情に応じたあり方や取組方法を工夫する必要がある。<br>・啓発活動に力を入れる等、地域の協力をより得られるようにするといった、持続可能な学校運営協議会の在り方を探る必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                          |                                                      |                                          |                                          |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                                                                              | ・各務原市コミュニティ・スクール連絡協議会の内容を吟味しながら実施し、市の方向性を確認したり情報共有したりする場をもつ。<br>・各学校運営協議会の取組については、地域資源の活用（自然環境等）を視点に振り返りを行い、他課とも連携できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                          |                                                      |                                          |                                          |

|                            |                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N | 令和5年度を終えての課題                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分のペースで学習を進められる「学びの部屋ココカラ」を開室したことで、学校に行きづらさを感じている児童生徒やその保護者が個々の状況に応じて選択できる居場所が増えた。それぞれの教育支援センターのコンセプトについて、広めていく必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                      |
|                            | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校に行きづらさを感じている生徒やその保護者が状況に合わせて、居心地のよい場所を選択できるようにしていく。</li> <li>• 教育支援センターが学校に復帰ができた児童生徒や不登校傾向にある児童生徒の情報を学校と共有し、児童生徒の支援の方法を連携しながら考えていく。</li> <li>• 学校では、教育相談週間を設けて、担任等が一人一人の児童生徒とじっくりと話をする時間をつくり、悩みを把握するよう努めている。また、「すてっぷ」では、学校に行きづらさを感じ始めた児童生徒の保護者と今後について相談している。教育支援センターでは、家族以外の人と関わる居場所として、今後も学校や保護者へ活動内容やコンセプトも含めて周知していく。</li> </ul> |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 無     |
| 担当課名            | 学校施設課 |

|         |                               |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                         |                                              |                         |       |
|---------|-------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|-------------------------|-------|
| PLAN・DO | 事業番号                          |                 | 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                         |                                              | 担当課名                    | 学校施設課 |
|         | 基本施策                          |                 | 学校等施設・設備の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                         |                                              |                         |       |
|         | 事業名                           |                 | 校舎給水管更新事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                         |                                              |                         |       |
|         | 事業目的                          |                 | 給水管の老朽化による錆等の異物混入を防ぎ児童・生徒の安全な飲用水確保のため配管を更新する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                         |                                              |                         |       |
|         | 事業内容                          |                 | 学校校舎の給水管の更新、受水槽、高架水槽の更新及び耐震化を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                         |                                              |                         |       |
|         | 達成指標                          | 令和2年度           | 令和3年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 令和4年度                   | 令和5年度                                        | 令和6年度                   |       |
|         |                               | 給水管改修工事<br>・那一小 | 給水管改修工事<br>・稲束小<br>・鶴沼中<br>・那一小                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 給水管改修工事<br>・蘇原中<br>・鶴二小 | 給水管改修工事<br>・鶴一小<br>・那加二小                     | 給水管改修工事<br>・緑陽中<br>・蘇二小 |       |
|         | 達成指標の成果                       | 達成              | 達成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 達成                      | 達成                                           |                         |       |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          | 87,648千円        | 193,307千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 249,191千円               | 237,188千円                                    | 262,710千円               |       |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                 | ・夏季期間の短縮など、工事の進め方についてあらかじめ学校との調整を図りながら実施した。<br>・小学校においては、夏休み工事の場合でも学童利用があり、仮設給水で対応した。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                         |                                              |                         |       |
|         | 実績・成果                         |                 | ・那加第二小学校給水管等改修工事を実施した。<br>・鶴沼第一小学校給水管等改修工事を実施した。<br>・令和6年度工事予定の緑陽中学校給水管等改修工事設計業務を実施した。<br>・令和6年度工事予定の蘇原第二小学校給水管等改修工事設計業務を実施した。                                                                                                                                                                                                                                             |                         |                                              |                         |       |
| CHECK   | 自己評価                          | 必要性①            | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 評価理由                    | 給水管、排水管が老朽化したことに伴い、安全安心な飲用水を確保するために改修は必要である。 |                         |       |
|         |                               | 必要性②            | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                         | 教育委員会で実施しなければならない事業である。                      |                         |       |
|         |                               | 効率性             | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                         | 1校当たりの改修費が高額であり、平準化を図り年2校程度までに留めている。         |                         |       |
|         |                               | 有効性             | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                         | 実施計画にて認められた内容について適切に実施した。                    |                         |       |
|         |                               | 今後の方向性          | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                         | 安全安心な飲用水を確保するため必要な事業である。                     |                         |       |
|         | 外部評価委員の知見                     |                 | ・子どもに安全な水を提供するためにはなるべく早期に全部の学校の工事を完了してほしい。例えば、耐震工事が終わるやいなや体育館新築、洋式トイレへの改修、教室エアコン設置事業そしてさらに、この事業が始まってきた。体育館や給食室のエアコン設置も終わっていない中で、築何十年の古い校舎のエンドレスの改修は意味があるのか、少子化による学校の統廃合があるかは不明だが、付け焼刃の改修から思い切って建替えやリノベーションも考えてほしい。<br>・計画的に行われているようでありがたい。水道から出る水が安全で美味しく飲めるよう願う。<br>・児童生徒のためにも、先を見据え計画的に実行されることが望ましい。<br>・各小中学校施設建設から30年以上経たものが全体のほぼ9割とのことで、学校建替基本方針策定とこの事業が連動するようにしてほしい。 |                         |                                              |                         |       |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                  |                 | ・引き続き半導体等の部品納期が長期化しており、綿密な工期工程管理が必要。<br>・機器部品及び建設単価の急激な値上がりにより工事費が高騰している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                         |                                              |                         |       |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                 | ・令和6年度の上半期工事予定である蘇原第二小学校・緑陽中学校の給水管等更新工事について、令和5年12月議会にて債務負担行為を要求し、令和6年2月に入札を実施した。<br>・夏休み前から、工事着手するため綿密な工期工程管理が必要。                                                                                                                                                                                                                                                         |                         |                                              |                         |       |



# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有 |
|-----------------|---|

|                                 |                               |                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                                                                       |                      |                      |
|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|
| 事業番号                            |                               | 6                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課名                 |                                                                       | 青少年教育課               |                      |
| 基本施策                            |                               | 地域の教育力の向上                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                                                                       |                      |                      |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                           |                                                                             | 青少年育成活動事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                      |                                                                       |                      |                      |
|                                 | 事業目的                          |                                                                             | 各小学校区に組織される青少年育成市民会議を主体に、「家族や地域の絆を深め、地域の子は地域で守り育てる」という視点に立ち、青少年が地域の人々とふれあい、安心して生活できる地域づくりを推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                                                                       |                      |                      |
|                                 | 事業内容                          |                                                                             | ・青少年教育指導員の配置（4地区各1名）<br>・校区運営委員会、推進委員会ほか地域行事への参加<br>・市民会議活動推進ガイドの作成・配布<br>・通学路ふれあい安全マップの作成・配布<br>・各校区育成だより作成に係る補助金                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                      |                                                                       |                      |                      |
|                                 | 達成指標                          |                                                                             | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和3年度                | 令和4年度                                                                 | 令和5年度                | 令和6年度                |
|                                 |                               |                                                                             | 通学路見まもり隊加入者数1,800人維持                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 通学路見まもり隊加入者数1,800人維持 | 通学路見まもり隊加入者数1,800人維持                                                  | 通学路見まもり隊加入者数1,800人維持 | 通学路見まもり隊加入者数1,800人維持 |
|                                 | 達成指標の成果                       |                                                                             | 1,734人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1,554人               | 1,517人                                                                | 1,490人               |                      |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                                                                             | 6,867千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 4,879千円              | 3,846千円                                                               | 3,576千円              | 3,804千円              |
| 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等             |                               | ・各校区において、自治会をはじめとする地域の様々な団体と連携を図り、参加を促す工夫をしながら活動を進めた。                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                                                                       |                      |                      |
| 実績・成果                           |                               | ・市内全小学校区で1,490人の方が見まもり隊に登録いただき、隊員と児童生徒の交流を続けることができ、安全・安心な地域づくりの一翼を担うことができた。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                                                                       |                      |                      |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                          | 必要性①                                                                        | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 評価理由                 | 地域のボランティア活動や各種行事等を通して、地域で青少年の健全育成に大きく寄与し、総合計画に掲げる地域教育力の向上に寄与する事業である。  |                      |                      |
|                                 |                               | 必要性②                                                                        | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      | 全校区において事業計画を円滑に遂行するために側面的な支援が必要である。                                   |                      |                      |
|                                 |                               | 効率性                                                                         | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      | 各校区市民会議で育成だよりを発行し、地域の方へ活動内容の周知を図っている。                                 |                      |                      |
|                                 |                               | 有効性                                                                         | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      | 市民会議の目的である「地域の子は地域で守り育てる」という方針のもと、各校区において計画に沿った青少年育成活動が継続的に行われている。    |                      |                      |
|                                 |                               | 今後の方向性                                                                      | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                      | 各校区において見まもりや声かけなど地道な活動を継続的に実施し、地域での交流や情報共有を促し子どもたちが健やかに成長できるよう活動している。 |                      |                      |
|                                 | 外部評価委員の知見                     |                                                                             | ・多岐にわたる青少年の健全育成につながる大切な事業ばかりであるので、さらに充実させてほしい。ただし、5つの事業のうち指標や課題等が見まもり隊の人数のみで提示されており、他の活動においても推進の充実のため指標を定めるべきである。特に推進指導員を4名配置しているが夜間の会合や地域に立ててあるのぼり旗の交換、ふれコミ隊の活動の支援等仕事が多いため増員や活動内容の精選等を図っていただきたい。<br>・コミュニティスクールとの連携を図ることでさらに校区の子どもたちの健全育成を推進していったほしい。<br>・登校する子どもたちに声をかけてあげたり、話をしている見まもり隊の姿を出勤途中に見かけ、とてもありがたいと思う。重荷にならないよう楽しく続けて頂けるとありがたい。なお、岐阜市の学校では、登校時は子ども会から当番制で保護者が付き添っている。<br>・課題として、見まもり隊の登録者数の減少があげられている。児童生徒数に合わせて達成指標を定めているのであれば、今後見直す必要があるのではないかな。<br>・見まもり隊の児童生徒に対する登下校の見守りやあいさつがすばらしい。<br>・登録者数が年々減少している状況に対し、達成指標の見直しが必要だと思う。高齢化比率が高い学校区も多いため、学校や保護者も含めた話し合いを願う。 |                      |                                                                       |                      |                      |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                             | ・通学路見まもり隊の登録者数が減少しており、活動への負担感を取り除くため、気軽に参加・活動できることについて周知が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                      |                                                                       |                      |                      |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                             | ・各校区の地域性を踏まえた活動を尊重しながら、地域の子も達が関わることでできる様々な場面を支援していくと共に、コミュニティスクールや自治会など、地域を拠点に活動する団体との協働についても検討する。<br>・既存の活動内容を精査しながら、効率的な運用を図る。現在の達成指標について、時勢や他の計画との連動を考慮したうえで、設定数の見直しを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                      |                                                                       |                      |                      |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有      |
| 担当課名            | 少年自然の家 |

PLAN・DO

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------|-----------|-------------------|----|-------|---------------|--------|-------|-----|----|------------|------|----|----|------------|----|------------|------|----|----|------------|----|------------|-------|----|----|-----|----|------------|-------|----|----|-----|----|----------|------|----|----|-------------------|----|----------|-------|----|----|------------|----|----------|------|----|----|-----------|
| 事業番号                 | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |               |           | 担当課名      | 少年自然の家            |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 基本施策                 | 家庭の教育力の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 事業名                  | 家族ふれあい体験事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 事業目的                 | 家族での野外活動を通じて、家族の絆を深め、家庭での役割に気づく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 事業内容                 | 家族で相談し力を合わせて野外炊事やクラフトなどに取り組み、親子で触れ合う活動をするとともに、家族で気軽に楽しむ野外活動へのきっかけをつくる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 達成指標                 | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和3年度         | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度             |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
|                      | 各家族ふれあい体験事業参加家族数 135家族／年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 達成指標の成果              | 38家族 117人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 27家族 84人      | 86家族 242人 | 84家族 236人 |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額 | 63千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 87千円          | 18千円      | 20千円      | 18千円              |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等  | ・定員数を大幅に超える応募数（平均6.7倍）により落選が増えたことから、安全・安心な実施環境を整えつつ、定員数を増加（ファミリーデー①において10家族から30家族）した。<br>・自然豊かな立地条件を生かした、「伊木山トレッキング」の活動内容を登るだけではなく、木々の植生や野鳥、地形等の説明を聞きながらゆったりと時間を過ごすスタイルに変更した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |               |           |           |                   |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 実績・成果                | <table><tr><td>対象</td><td>主催事業名</td><td>応募数<br/>(家族・人)</td><td>当日の家族数</td><td>当日の人数</td><td>備 考</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリー宿泊デー①</td><td>77家族</td><td>10</td><td>32</td><td>テント泊・春キャンプ</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリー宿泊デー②</td><td>80家族</td><td>10</td><td>36</td><td>テント泊・秋キャンプ</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリーデー①-1</td><td>170家族</td><td>13</td><td>35</td><td>虫取り</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリーデー①-2</td><td>108家族</td><td>13</td><td>35</td><td>虫取り</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリーデー②</td><td>24家族</td><td>18</td><td>38</td><td>クラフト体験（自然物・小枝のペン）</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリーデー③</td><td>118家族</td><td>10</td><td>34</td><td>段ボールビーズづくり</td></tr><tr><td>家族</td><td>ファミリーデー④</td><td>17家族</td><td>10</td><td>26</td><td>伊木山トレッキング</td></tr></table> <p>参加者からは「楽しい時間を過ごせました。子どもの違う姿や体験した活動を家でもやってみようと思った」などといった感想からも家族とふれあうよいきっかけとなった。</p> |               |           |           |                   | 対象 | 主催事業名 | 応募数<br>(家族・人) | 当日の家族数 | 当日の人数 | 備 考 | 家族 | ファミリー宿泊デー① | 77家族 | 10 | 32 | テント泊・春キャンプ | 家族 | ファミリー宿泊デー② | 80家族 | 10 | 36 | テント泊・秋キャンプ | 家族 | ファミリーデー①-1 | 170家族 | 13 | 35 | 虫取り | 家族 | ファミリーデー①-2 | 108家族 | 13 | 35 | 虫取り | 家族 | ファミリーデー② | 24家族 | 18 | 38 | クラフト体験（自然物・小枝のペン） | 家族 | ファミリーデー③ | 118家族 | 10 | 34 | 段ボールビーズづくり | 家族 | ファミリーデー④ | 17家族 | 10 | 26 | 伊木山トレッキング |
| 対象                   | 主催事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 応募数<br>(家族・人) | 当日の家族数    | 当日の人数     | 備 考               |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリー宿泊デー①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 77家族          | 10        | 32        | テント泊・春キャンプ        |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリー宿泊デー②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 80家族          | 10        | 36        | テント泊・秋キャンプ        |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリーデー①-1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 170家族         | 13        | 35        | 虫取り               |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリーデー①-2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 108家族         | 13        | 35        | 虫取り               |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリーデー②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 24家族          | 18        | 38        | クラフト体験（自然物・小枝のペン） |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリーデー③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 118家族         | 10        | 34        | 段ボールビーズづくり        |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |
| 家族                   | ファミリーデー④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 17家族          | 10        | 26        | 伊木山トレッキング         |    |       |               |        |       |     |    |            |      |    |    |            |    |            |      |    |    |            |    |            |       |    |    |     |    |            |       |    |    |     |    |          |      |    |    |                   |    |          |       |    |    |            |    |          |      |    |    |           |

CHECK

|                               |      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |                                                                                                              |
|-------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自己評価                          | 必要性① | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 評価理由 | 応募数の多さから自然体験のニーズは高い。自然体験活動が身近に体験でき、家族の絆をさらに深められるなど、非常に必要性の高い事業である。                                           |
|                               | 必要性② | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      | 市内に所在する施設として、安価に利用でき大変利用しやすい環境にある。また、行政サービスの一環として、市民ニーズに応じるべく事業を市が担う必要性は高いと思われる。                             |
|                               | 効率性  | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      | 施設の自然環境を活かした活動を企画し、また、職員の知識を深めスキルアップを図ることでコストを抑えることができています。                                                  |
|                               | 有効性  | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      | アンケートから「楽しい時間を過ごせました。子どもの違う姿や家族の在り方を考えた」など参加者の満足度は高く、家族の関わり方など家族内のふれあいとなるきっかけづくりの効果は高い。                      |
|                               | 総合評価 | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      | 自然体験を通して、普段と違う作業を家族で行うことなどにより、新たな会話が生まれ、新しい一面に気づくなど家族の絆をより深める効果は高く、アンケート結果からもその高い効果を窺うことができる。現状どおり実施すべきと考える。 |
| 外部評価委員の知見                     |      | ・最高12倍、最低でも2倍近くはあり、これほどのニーズがあるとは思わなかった。この抽選に落ちた方が気落ちしてしまったり、離れてしまうことの無いようにフォローしてあげてほしい。何度か落ちた人を優先にする等の対策を行い、口コミで「当たらない、無理だ」ということが広がらないようにしてほしい。スタッフが不足するならば、学生ボランティアやボーイスカウト、子ども会のシニアリーダーなども活用できるように連携していくことも考えられる。財源が不足するならば、実費以外の参加料を有料化することも検討し、なるべく多くのニーズに対応していただきたい。<br>・学校から飛び出した野外活動等で子どもたちの意外な姿が見られてとても良い事業だと思う。子ども達ばかりではなく、家族同士の姿を大人達が見ることで子育ての良い影響を及ぼすのではないかな。自分の子も他人の子も区別なく社会の子として関わること、見てあげる、認めてあげる、（時には注意をしてあげる）等、自己肯定感が高まっていくことを期待する。<br>・開催の曜日が偏ることで、保護者によっては参加することが難しいのではないかな。<br>・落選された家族の落胆大きいことと推察する。安全安心な開催のためには、やむを得ないことと思うが、今後もその他の体験事業を含め継続を願う。 |      |                                                                                                              |
| 令和5年度を終えての課題                  |      | ・定員数を大幅に超える応募数により、落選が増えること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |                                                                                                              |
| 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |      | ・安全・安心な実施環境を整えつつ、定員数を増加（ファミリーデー①において30家族から40家族）する。<br>・体験事業の実施方法について見直しを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |                                                                                                              |

ACTION

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有      |
| 担当課名            | 青少年教育課 |

|                                 |                              |                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                                                      |          |          |
|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
|                                 |                              | 事業番号                                                                                                                     | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         | 担当課名                                                                                 | 青少年教育課   |          |
|                                 |                              | 基本施策                                                                                                                     | 体験学習の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                                                                                      |          |          |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                          |                                                                                                                          | 中学生海外派遣事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |                                                                                      |          |          |
|                                 | 事業目的                         |                                                                                                                          | 次代を担う青少年を海外に派遣し、ホームステイや学習体験等を通して英語力の向上を図る。また、異文化に接することにより、グローバルな視点で世界を眺めることや、ふるさとの良さを再発見するなど、多様な見方や考え方を育む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         |                                                                                      |          |          |
|                                 | 事業内容                         |                                                                                                                          | 中学校2、3年生をカリフォルニア州セリトス市に派遣し、現地での交流などを通じて、グローバルな人材の育成を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                                                                                      |          |          |
|                                 | 達成指標                         |                                                                                                                          | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 令和3年度   | 令和4年度                                                                                | 令和5年度    | 令和6年度    |
|                                 |                              |                                                                                                                          | 参加生徒30人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 参加生徒30人 | 参加生徒30人                                                                              | 参加生徒30人  | 参加生徒30人  |
|                                 | 達成指標の成果                      |                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | —       | —                                                                                    | ※参加生徒20人 |          |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額         |                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | —       | —                                                                                    | 12,389千円 | 18,612千円 |
| 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等             |                              | ・コロナ禍による4年間のブランクがあったため、訪問先や業者との連絡を密にし、より丁寧な情報収集に努めた。                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                                                      |          |          |
| 実績・成果                           |                              | ・受入れ先の都合により定員が20人となったが、61人の応募があった。選考会を経て決定した20人の中学生をカリフォルニア州セリトス市に派遣し、現地ではホームステイや学校訪問、企業見学などを通して、英語力やコミュニケーション能力の向上を図った。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                                                      |          |          |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                         | 必要性①                                                                                                                     | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 評価理由    | 豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成するためには、現地を訪問し直に異文化を体験することは非常に重要である。                                |          |          |
|                                 |                              | 必要性②                                                                                                                     | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         | 中学生が事業に関わることにについて、各校及び教育委員会の連携が必要である。                                                |          |          |
|                                 |                              | 効率性                                                                                                                      | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         | 選考会を実施し真に意欲のある生徒を選考するとともに、海外派遣事業費の2分の1を補助し実施している。                                    |          |          |
|                                 |                              | 有効性                                                                                                                      | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         | 毎年多くの申込があり、中学生にとって魅力ある事業となっている。                                                      |          |          |
|                                 |                              | 今後の方向性                                                                                                                   | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |         | 次世代を担う中学生の国際理解に大きく寄与し、これらの経験がもとであらゆる視点から世界に目を向けるきっかけとなるとともにふるさと各務原の発展に貢献する人材の育成に役立つ。 |          |          |
|                                 | 外部評価委員の知見                    |                                                                                                                          | ・中学生を海外でホームステイさせることを市が援助することは大変有意義なことだ。誰しもが簡単に実行できないことを半額であっても支援するのはこれからも続けてほしい。以前はセリトス市だけでなく全く環境も風土も異なるユタ州のカナブ市と3日/3日の半々に実施していた。色々な理由があったと思うが、せっかくなら複数の箇所を経験させたい。アメリカの大自然と近代化した都市部と両方見てこそアメリカが分かると思う。<br>・中学時代に異国の地でホームステイや社会見学ができる事は、本当にかけがえのない経験になると思う。一人でも多くの子どもたちが体験できるといいと思う。<br>・社会情勢により、経費の増加は避けられないかもしれないが、大変良い事業であるため今後も継続されることを望む。<br>・自己負担額によっては、参加したい強い意志があっても諦めざるを得ない生徒がいることも考えられる。<br>・円安の影響もあり、大変な時期だが、関係者の目配りをお願いしたい。 |         |                                                                                      |          |          |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                 |                                                                                                                          | ・著しい物価高騰と歴史的な円安の影響により経費が増加した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         |                                                                                      |          |          |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度取組や方向性 |                                                                                                                          | ・中学生にとって貴重な経験ができる重要な機会である。訪問先や研修内容については、社会情勢や市の施策を適切に捉え、また、現地関係者との連絡調整を密にし、厳しい状況下においてもより充実したプログラムとなるよう検討し、事業の継続に努める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                      |          |          |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有 |
|-----------------|---|

# 令和5年度事業点検・評価シート

| PLAN・DO | 事業番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  |                  |                                                                                                                | 担当課名             | 少年自然の家 |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|---------------|-------|-----|---|--------|-----|----|-----------|---|----------|-----|----|-----------|---|------------------|-----|----|-----------|---|--------------|----|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 基本施策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 体験学習の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 自然体験学習推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 事業目的                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 自然体験や宿泊体験を通じて、社会性や豊かな人間性を養い、生きる力を育む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 家庭や学校では得がたい様々な自然体験や社会体験を通して、豊かな人間性を養い生きる力を育む。そのために身近な自然を活用し、一人ひとりが自ら考え仲間と助け合う協調・協働体験の場を設定し、感動を生む事業を展開する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 達成指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度                                                                                                          | 令和6年度            |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 自然体験事業の参加者数 290人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 自然体験事業の参加者数 290人 | 自然体験事業の参加者数 290人 | 自然体験事業の参加者数 290人                                                                                               | 自然体験事業の参加者数 290人 |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 達成指標の成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 104人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 102人             | 121人             | 101人                                                                                                           |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 0千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 143千円            | 493千円            | 457千円                                                                                                          | 578千円            |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>コロナ下において延期、中止が続いた事業に対して、応募を促す対策を下記のとおりに行った。</p> <p>1. イベント毎に対象全児童生徒に対し、イベント申込のQRコードを付した名刺大のPRカードを配布。</p> <p>2. 魅力のあるチラシづくり</p> <p>3. 季節感を盛り込むなど、より魅力的な体験活動を開発。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| 実績・成果   | <table> <tr> <th>対象</th> <th>主催事業名</th> <th>応募数<br/>(家族・人)</th> <th>当日の人数</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>子</td> <td>ぼうけん王国</td> <td>84名</td> <td>20</td> <td>1泊2日（館内泊）</td> </tr> <tr> <td>子</td> <td>集まれ！冬遊び隊</td> <td>24名</td> <td>18</td> <td>1泊2日（館内泊）</td> </tr> <tr> <td>子</td> <td>English day camp</td> <td>55名</td> <td>26</td> <td>業務委託・1日開催</td> </tr> <tr> <td>子</td> <td>各務野科学ラボ（全5回）</td> <td>8名</td> <td>37</td> <td>講師：大学職員・高校教員</td> </tr> </table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                  |                                                                                                                | 対象               | 主催事業名  | 応募数<br>(家族・人) | 当日の人数 | 備 考 | 子 | ぼうけん王国 | 84名 | 20 | 1泊2日（館内泊） | 子 | 集まれ！冬遊び隊 | 24名 | 18 | 1泊2日（館内泊） | 子 | English day camp | 55名 | 26 | 業務委託・1日開催 | 子 | 各務野科学ラボ（全5回） | 8名 | 37 | 講師：大学職員・高校教員 | 参加アンケートからは、全員が「大変満足」「概ね満足」であり、満足度が高いことが窺える。参加者同士の関わりの中で、自らの自信や他者への感謝の気持ちが芽生え、他者から感謝されることで自己肯定感の育成につながった。 |
| 対象      | 主催事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 応募数<br>(家族・人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 当日の人数            | 備 考              |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| 子       | ぼうけん王国                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 84名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 20               | 1泊2日（館内泊）        |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| 子       | 集まれ！冬遊び隊                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 24名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 18               | 1泊2日（館内泊）        |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| 子       | English day camp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 55名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 26               | 業務委託・1日開催        |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| 子       | 各務野科学ラボ（全5回）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 8名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 37               | 講師：大学職員・高校教員     |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| CHECK   | 自己評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 必要性①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ◎                | 評価理由             | 近年、少子化や地域社会における人間関係の希薄化が進む中、多様な人や社会、自然と直接ふれあう体験の機会が乏しくなっている。そのような状況から、自然の中での野外活動を通じて、体験的に学習する場としてニーズは高まっている。   |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 必要性②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ◎                |                  | 市内在住の小中学生対象であり、教育行政サービスの一環として、身近で安価に利用できる大変利用しやすい環境である。また、市教育委員会の教育方針を反映できる施設として、児童生徒の健全育成に応じるべく事業を市が担う必要性が高い。 |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○                |                  | 施設の自然環境を活かした活動を企画し、また、職員の知識を深めスキルアップを図ることでコストを抑えることができている。                                                     |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 有効性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○                |                  | 実施後のアンケートから「新しい仲間と積極的に関わることで自信につながった」「体験したことをさらに家に帰ってやってみたいと思う」など参加者の高い満足度と有効性を窺うことができる。                       |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 現状どおり            |                  | 少子化や地域社会における人間関係の希薄化が問題視される中、多様な人々や社会、自然などと直接ふれあう様々な体験できる事業は学校教育、地域教育において大変貴重な事業であり、継続する必要がある。                 |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 外部評価委員の知見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の家をベース（基地）として、自然体験・耐寒体験・疑似留学・科学、化学実習など多くの取り組みをしていることが分かった。一部人気の無いコースもあるようだが、多くの応募のある取り組みを継続させてほしい。そして、抽選に漏れた子どもたちを救う方法を是非考えてほしい。以前サイエンスラボは航空宇宙博物館で行っていた。より本市の特色につなげるなら河川環境楽園や航空宇宙博物館に委ねていくことでサイエンスラボの方も活性化するとされる。安易に自然の家に集約させてしまい、本来の良さを生かせていないのではないかと。</li> <li>・現代は非常に便利なツールが沢山あるため、逆に自然体験、宿泊体験等は、机上勉強の他にかけがえのない体験ができるもので、貴重な事業だと思う。「認め合う、褒めあう、感謝する」等、自己肯定感が高まるものと思う。一部の事業では、参加人数が少なくネーミングも変えられたとのことで、予算確保が支障になると思うが、有名人を招けば、すぐに定員を満たせると思う。</li> <li>・課題に対しての、具体的な取組みや方向性が示されていることは大変良い。</li> <li>・「各務野科学ラボ」の開催日がほぼ土、日曜日であるが、夏休み中の平日も候補に入れてはどうか。</li> <li>・この事業での体験は生涯の思い出になることと思う。安全安心な事業実施に対し、職員の気配りにも感謝したい。</li> </ul> |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「各務野科学ラボ」が定員数に達しない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがチラシ等の案内を目にしたときに、イメージしやすく、親しみがあり、覚えやすいネーミングに変更する。（例：夢と学びのサイエンス教室）</li> <li>・「原則5回参加」から、参加したい講座を申し込む選択制とする。</li> <li>・広報媒体について、子どもたちやその保護者に身近な「スマート連絡帳」を活用する。</li> <li>・体験事業の実施方法について見直しを行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  |                  |                                                                                                                |                  |        |               |       |     |   |        |     |    |           |   |          |     |    |           |   |                  |     |    |           |   |              |    |    |              |                                                                                                          |



# 令和5年度事業点検・評価シート

|                                 |                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |                                                             |       |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------|-------|
|                                 |                               | 新型コロナウイルス<br>イルスの影響<br>の有無                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 無       |                                                             |       |
| 事業番号                            |                               | 10                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課名    |                                                             |       |
| 基本施策                            |                               | 生涯学習の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | いきいき楽習課 |                                                             |       |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 生涯学習団体支援事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                             |       |
|                                 | 事業目的                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | クラブ・サークルの活動を支援するとともに、様々な団体との連携・協働により、学習活動の活性化を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |                                                             |       |
|                                 | 事業内容                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | クラブ・サークルの認定登録及び更新手続きを行い、活動を支援する。クラブ・サークルの加入者を増やすため、体験会を実施する。大学公開講座の周知やシティカレッジ各務原特別講演会を開催する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |         |                                                             |       |
|                                 | 達成指標                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 令和3年度   | 令和4年度                                                       | 令和5年度 |
|                                 |                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 認定クラブ・サークルの登録団体数 目標値：500団体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                             |       |
|                                 | 達成指標の成果                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 633団体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 602団体   | 567団体                                                       | 529団体 |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 295千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 339千円   | 581千円                                                       | 590千円 |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ・各サークルあてに「サークル無料体験・見学会」の実施団体を募集するためのチラシを送付するにあたり、まちづくり推進課の「まちづくり担い手マッチング事業」の案内と一緒に送ることで郵送費の削減を図った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                                                             |       |
| 実績・成果                           |                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サークル無料体験会・見学会」の開催を周知することにより、メンバーを募集したい団体と活動を希望する市民とのマッチングが成立している。</li> <li>・シティカレッジ各務原特別講演会は、中部学院大学各務原キャンパスを会場とし、大学と共催で2回の講演会を開催した。</li> <li>①「いま幸せでっか」11月26日（日）開催、講師：大村崑、参加者：294人</li> <li>②「竹下景子さんを迎えて～朗読とお話～」2月4日（日）開催、講師：竹下景子、参加者：132人</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |                                                             |       |
| C<br>O<br>N<br>T<br>E<br>N<br>T | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 評価理由    | 市民が地域活動に気軽に参加できる仕組みとして必要である。                                |       |
|                                 |                               | 必要性②                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         | 公民館活動の一環として、生涯学習の充実に向けた支援は必要である。                            |       |
|                                 |                               | 効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         | チラシの送付は他課と連携して一緒に送付するなど費用削減を図っている。                          |       |
|                                 |                               | 有効性                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         | 定期的なクラブ・サークル活動の支援や、講演会の開催をすることで、市民の生活が豊かになり、健康づくりにもつながっている。 |       |
|                                 |                               | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         | クラブ・サークル活動や学習活動の活性化のために、引き続き事業を推進していく。                      |       |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にあるクラブ・サークルの活動を支援する本事業は大変大切なものである。体験会や見学会を有効的に使い、メンバーが不足している所などを行政として手を差し伸べることを継続し、活動が継続できなくなり、やむなく幕を閉じるようなことが無いようにお願いしたい。今後は似たサークル同士のマッチングやコラボレーションも視野に入れていくことも重要になるかと思う。</li> <li>・特別講演会については、より多くの参観者を募るために、誰（どういう講師）を、どの層をターゲットに、どういう方法で集客するかを周知させるとともに、根本的なニーズ（今日的課題と話題性等）のヒサーチが必要と思われる。</li> <li>・45年ほど前に各務原市へ嫁いできた当時もクラブ・サークルがとても盛んでお料理やヨガなど習った。施設も有効に利用できて生涯学習が広がればよいと思う。</li> <li>・幅広い年代が参加しやすい工夫があるとよい。</li> <li>・団体数が多い中、主導的な取組み、情報発信等を引き続きお願いする。</li> </ul> |         |                                                             |       |
|                                 | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ・クラブ・サークルに参加するメンバーの高齢化や、コロナ禍の影響で、クラブ・サークルの全体数と参加人数が減少している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |                                                             |       |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座終了後にクラブ・サークル活動や地域活動につなげていけるような生涯学習講座の企画を引き続き開催していく。</li> <li>・クラブ・サークル体験会の実施団体を募集する際に、認定クラブ・サークルの基準に達していない団体にも周知を図り、参加を促していく。</li> <li>・若い世代の講座参加が少ないため、内容や開催時間等を工夫して開催する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |                                                             |       |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 無     |
| 担当課名            | 中央図書館 |

|         |                               |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                                   |                  |          |
|---------|-------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------|
| 事業番号    |                               | 11               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課名             | 中央図書館                                                                                             |                  |          |
| 基本施策    |                               | 生涯学習の充実          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                                   |                  |          |
| PLAN・DO | 事業名                           |                  | 図書資料充実事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |                                                                                                   |                  |          |
|         | 事業目的                          |                  | 市民の知的好奇心に応え、多様化するニーズに対応した「市民の教育・文化の向上に寄与する図書館」を目指すため、あらゆる分野にわたる資料の収集・整理・保存に努めることが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |                                                                                                   |                  |          |
|         | 事業内容                          |                  | 市内4館および移動図書館それぞれに特色のある図書資料を計画的に整備・充実し、読書や調査・研究など、市民の多様なニーズに応えられるよう図書館サービスを充実する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                                   |                  |          |
|         | 達成指標                          | 令和2年度            | 令和3年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 令和4年度            | 令和5年度                                                                                             | 令和6年度            |          |
|         |                               | 蔵書数：<br>590,000冊 | 蔵書数：<br>590,000冊                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 蔵書数：<br>590,000冊 | 蔵書数：<br>590,000冊                                                                                  | 蔵書数：<br>590,000冊 |          |
|         | 達成指標の成果                       |                  | 537,302冊                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 539,166冊         | 543,963冊                                                                                          | 548,009冊         |          |
|         | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                  | 26,047千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 22,000千円         | 22,000千円                                                                                          | 23,000千円         | 22,901千円 |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                  | ・読書活動推進として様々な場所にて展示を実施。一般書や児童書の展示だけでなく郷土資料コーナーに郷土関連図書の点字図書や能登半島地震募金協力関連本の展示など、多くの利用者が本に触れる機会を作ることができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                  |                                                                                                   |                  |          |
|         | 実績・成果                         |                  | ・年間図書受入冊数：15,047冊<br>・各館で特色のある図書資料の充実に努めた。<br>・中央図書館では、図書資料収集とともに展示やコーナーを活用した収集・棚作りを実施した。例えば身体などにハンディキャップのある方が読むことができる図書（LLブックや触る絵本など）を収集し児童書の近くに配置することで子どもたちが障がい者に対する理解を深められるようにしたことや、航空宇宙博物館学芸員が選書した航空関連本の収集・展示を行い専門機関と連携した図書資料の充実ができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |                                                                                                   |                  |          |
| CHECK   | 自己評価                          | 必要性①             | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 評価理由             | 市民ニーズにあった資料の収集や図書資料の提供を可能とする。<br>市民の知的好奇心の向上につながる事業である。                                           |                  |          |
|         |                               | 必要性②             | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  | 幼児期から本に触れ、読書習慣を育成するうえで子どもたちの読書環境の整備は大変重要となっている。家庭だけでなく学校や地域などの取り組みが必要であることから、教育委員会・行政関与は必須の事業である。 |                  |          |
|         |                               | 効率性              | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  | 購入や寄贈による受入図書の冊数は年間約15,000冊であり、貸出しによって市民に十分還元されている。                                                |                  |          |
|         |                               | 有効性              | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  | 図書の予約やリクエスト件数が90,000件以上（94,828件）あることから市民にとってこの事業の要望は高い。                                           |                  |          |
|         |                               | 今後の方向性           | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  | 市民の知的好奇心向上につながる図書資料収集に努める。                                                                        |                  |          |
|         | 外部評価委員の知見                     |                  | ・インターネットを通じた情報収集の環境は、子どもや若者の活字離れを加速していく。それを食い止め、活字に呼び戻す使命を図書館は持っている。口コミサイトや新聞の書評などでプラス評価が多ければ、追い風になるが一部のマイナス評価のために手に取るのを止めてしまうことがあるならば大変残念なことである。ネットの声をポジティブに拾ったり、書店員のおすすめ本コーナーのように図書館職員の生の声を紹介したり、新聞などの書評コーナーのページを掲示したりして本のおもしろさを広げてほしい。<br>・中央図書館の規模やスタイルは旧態依然としており、広く、くつろげる、カフェのようなといった新たな市民ニーズに対応するような形にはほど遠いが、市民公園の利を活かして既存の施設をインベーションし、各務原の知のシンボルとなる、唯一無二の中央図書館に育ててほしい。<br>・LLブックを初めて知った。点字訳（あけぼの会）、音訳（あじさいの会）等の活躍ぶりは、とても素晴らしいと思う。返却の期日が守られていない場合も少なくないそうだが、少しの工夫で返却率が上がるかもしれない。<br>・多様化したニーズに対応するため、大変努力されていることが伺える。今後も、更なる向上を目指し努力されることを望む。<br>・障がい者に対する理解を深められるようなコーナー（LLブックや触る絵本）設置や知的障がいの人たちの体験実施等、誰でも親しめる図書館に資する取組みがありすばらしい。<br>・会話がOKである空間（1階）について、掲示等のPRがあっても良いのではないかな。 |                  |                                                                                                   |                  |          |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                  |                  | ・各館の特色を生かしつつ多様化する利用者ニーズに対応した図書資料の計画的な収集・整理の実施。<br>・情報発信拠点として他部署や専門機関と連携したセミナーや資料収集など市民の教育や文化の向上に寄与する図書資料の充実。<br>・視覚障がい者だけでなく、多動や知的障がい者などに対する資料の充実や読書環境の整備。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                                                                                                   |                  |          |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                  | ・各館の特色を生かした図書資料の計画的な収集・整理に努める。<br>・情報発信拠点としての取り組みとして、他部署や専門機関と連携しビジネス支援に取り組む。<br>・LLブックや録音図書（デジ図書やマルチメディアデジ図書）など障がい者対象の図書資料の充実。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                                                                                                   |                  |          |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |          |                                                                               |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|-------------------------------------------------------------------------------|
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 新型コロナウイルスの影響の有無                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         | 無        |                                                                               |
| PLAN・DO                       | 事業番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         | 担当課名     | いきいき楽習課                                                                       |
|                               | 基本施策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 文化芸術活動の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         |          |                                                                               |
| CHECK                         | 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 文化・芸術活動支援事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |          |                                                                               |
|                               | 事業目的                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 市民や文化団体の自主的な活動を支援するとともに、官民相互の連携を深めることにより、様々な立場から文化芸術活動に参画できるよう、調整を図っていく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |         |          |                                                                               |
|                               | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 市の文化振興を促進し、市民の文化生活の向上に寄与するため、市文化協会活動（～R3）を補助する。<br>※R4からは「かかみがはら未来文化財団」の活動を補助する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |          |                                                                               |
|                               | 達成指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 令和3年度   | 令和4年度    | 令和5年度                                                                         |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 文化芸術体験への児童等の参加者数（累計） 目標値：3,700人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |          |                                                                               |
|                               | 達成指標の成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 341人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 777人    | 1,530人   | 2,859人                                                                        |
|                               | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 4,300千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 4,300千円 | 44,838千円 | 51,514千円                                                                      |
|                               | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ・財団の活動に賛同いただける個人・企業・経済団体を募り、令和5年度は198会員から支援を受けることができた。（前年度対比：161会員の増）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |          |                                                                               |
| 実績・成果                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い文化芸術にふれる機会を提供するため、オペラ界の第一線で活躍されている森麻季さんと林美智子さんによるデュオ・コンサートを開催するなど、市民の文化への関心を高める取り組みを実施した。</li> <li>・まちの未来を担う子どもたちの豊かな心や感性・創造性を育むため、「かかみがはらジュニア・アーツ・アカデミー」を開講し、アカデミーの最後にはプロのオーケストラと合唱団とともにステージに立つ、1日限りの特別なコラボレーションコンサートを開催するなど、子どもたちが芸術文化への関心を育む取り組みを実施した。</li> <li>・その他、吹奏楽の活動に対する支援や村国座を活用した取り組みを通じて、本市の特色ある文化芸術事業を推進した。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |          |                                                                               |
| ACTION                        | 自己評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 必要性①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ◎       | 評価理由     | 各務原の文化を担う「かかみがはら未来文化財団」は、令和5年度から「公益財団法人」となり、より公益性に特化した事業を展開している。              |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 必要性②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ◎       |          | 中学生対象の吹奏楽支援や、乳幼児対象のコンサートなどは行政がある程度支援し、参加者のすそ野を広げていく必要がある。                     |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○       |          | 昨年度と比較し、自主財源（賛助会費及び事業収入）の増加に努めるなど、収入の確保に向けた努力が見られた。                           |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 有効性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○       |          | 達成指標について、令和5年度単年の結果で見ると、非常に良好な数値結果となり、コロナが明け、子どもたちが文化芸術体験できる機会が求められていたことが窺える。 |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 現状どおり   |          | 自主財源の確保に努めつつ、継続的な文化芸術活動を推進していく。                                               |
|                               | 外部評価委員の知見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かつて本市は「音楽の街」を標榜し、行政の音頭で様々な取り組みがなされ、市内どこかしこで音楽で街をつくるという全体目標を持っていた。しかし、現在「かかみがはら未来文化財団」という組織のもと産官民の力で文化芸術全般を高めていこうと事業が進んできたことは草の根的でもあり、持続可能な活動になった気がする。音楽イベントだけでなく絵画等の美術イベントや高校生書道にも力を入れ、市内の芸術家・書道家を発掘し、世に送り出してほしい。</li> <li>・かかみがはら未来文化財団の活動は大変ありがたい活動であるため、是非とも継続して、文化薫る各務原市を更に進めてほしいと思う。</li> <li>・集客率のアップについては、更なる工夫をしていただけるとよい。</li> <li>・かかみがはら未来文化財団の対応に好感が持てる。市民会館におけるホワイエコンサート開催期待している。今後も様々な方法で情報発信を願う。</li> </ul> |         |          |                                                                               |
| 令和5年度を終えての課題                  | ・企画事業の充実を図るとともに、もっと多くの方に情報を届けることができるよう、情報発信のあり方について、さらに工夫する必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |          |                                                                               |
| 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を効果的に発信するため、財団ウェブサイトにおける情報発信を強化するとともに、SNSの積極的な活用を行うなど、情報発信の充実を図り、集客率のアップについて検討していく。</li> <li>・本市のもつ文化資源を最大限に活かし、多様な文化芸術事業を積極的に推進していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |          |                                                                               |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |      |
|-----------------|------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有    |
| 担当課名            | 文化財課 |

|                                 |                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                      |                      |                                                 |       |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------------------------------|-------|
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業番号                                                                                                                                            | 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 基本施策                                                                                                                                            | 歴史・文化遺産の保護と利活用                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 事業名                                                                                                                                             | 埋蔵文化財普及啓発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 事業目的                                                                                                                                            | 出土遺物の展示や地域の歴史、地理などを総合的に学ぶ講座、体験学習講座を通して埋蔵文化財に親しんでもらう機会を提供する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 事業内容                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査現場の公開、現地説明会の開催、出土品の展示公開</li> <li>各務原歴史セミナー、野外セミナー、各種体験講座の開催</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 達成指標                                                                                                                                            | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和3年度                | 令和4年度                | 令和5年度                                           | 令和6年度 |
|                                 |                                                                                                                                                 | ①ギャラリー見学者 10,000人<br>②現地説明会参加者 250人/1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 達成指標の成果                                                                                                                                         | ①4,571人<br>② 310人(2回)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ①3,722人<br>② 53人(2回) | ①5,640人<br>② 57人(2回) | ①6,532人<br>②未実施                                 |       |
|                                 | 予算・決算額(国県費等)※過年度は決算額                                                                                                                            | 295千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 94千円                 | 91千円                 | 377千円                                           | 610千円 |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等                                                                                                                             | ・市民が所蔵する石器を数多く集めて展示する企画展及び、古墳に関する講演会の開催。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |                      |                                                 |       |
| 実績・成果                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>ギャラリー見学者数は昨年の116%と順調に推移している。</li> <li>鵜沼古市場遺跡発掘調査の現場は対象面積が小さく、好評の野外セミナー「体験発掘」や現地説明会が開催できなかった。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                      |                      |                                                 |       |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                                                                                                                                            | 必要性①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○                    | 評価理由                 | 歴史・文化遺産の保護と利活用を進めるうえで、事業が市民に理解されることが不可欠である。     |       |
|                                 |                                                                                                                                                 | 必要性②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ◎                    |                      | 埋蔵文化財に関することは、行政でなければ担うことのできない事業である。             |       |
|                                 |                                                                                                                                                 | 効率性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ◎                    |                      | 鵜沼古市場遺跡の発掘調査から地域の歴史を知るうえで多くの成果が得られている。          |       |
|                                 |                                                                                                                                                 | 有効性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ○                    |                      | 発掘体験と現地説明会は毎回参加者の満足度が高い。                        |       |
|                                 |                                                                                                                                                 | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 現状どおり                |                      | 前年度に引き続き、鵜沼古市場遺跡の発掘調査は面積が小さいため発掘体験と現地説明会の実施は困難。 |       |
|                                 | 外部評価委員の知見                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>各務原市は石器時代以降人が住み着き、縄文・弥生・古墳・律令時代とそれぞれの時代の重要な遺跡が各地にある。それらを一括管理し、研究調査だけでなく、広く市民の手を借り、市民に身近な遺跡・遺産にしていこうとする姿勢は大変意味のあることである。今後もまだ発見されていない遺跡等があったときは広聴し一般公開と未来への保全に力を入れていってほしい。地味な取り組みではあるが、各務原市に住む子どもたちに郷土に対する自信と誇りを持たせるためにも、これからも事業を大切に進めていってほしい。</li> <li>大規模な土地開発による発掘体験ができることを祈っている。</li> <li>ギャラリー見学者の増加や、発掘体験と現地説明会の満足度が高いことから、様々な努力をされていることが伺える。今後も、パターン化することなく、多くの市民が埋蔵文化財に親しむことができる機会を提供されることを望む。</li> <li>「新発見！各務原の歴史」の編集内容がすばらしい。</li> </ul> |                      |                      |                                                 |       |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                                                                                                                                    | ・大規模な土地開発が実施されるとの情報が有り、その場合に発掘体験と現地説明会の機会を提供できるか判断が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                      |                      |                                                 |       |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性                                                                                                                   | ・上記計画が決定した場合、鵜沼古市場遺跡で実施できない代わりとして発掘体験と現地説明会の実施を検討する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                      |                      |                                                 |       |



# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |      |
|-----------------|------|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 有    |
| 担当課名            | 文化財課 |

|                               |                      |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |
|-------------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------|-------|-------|
| 事業番号                          |                      | 14                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課名  | 文化財課                                                     |       |       |
| 基本施策                          |                      | 歴史・文化遺産の保護と利活用                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |
| PLAN・DO                       | 事業名                  |                                                                                                                                                                                      | 歴史ボランティアガイドサービス事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       |                                                          |       |       |
|                               | 事業目的                 |                                                                                                                                                                                      | 文化財を案内・解説する歴史ボランティアガイドを募り、運用することで、市内文化財の理解を深めるとともに、地域の人材・活力を活用する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       |                                                          |       |       |
|                               | 事業内容                 |                                                                                                                                                                                      | 村国座の見学者に対し、ボランティアガイドによる解説を行うほか、鶴沼宿でのイベント開催時に、登録文化財建造物等のガイドを実施する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |                                                          |       |       |
|                               | 達成指標                 |                                                                                                                                                                                      | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 令和3年度 | 令和4年度                                                    | 令和5年度 | 令和6年度 |
|                               |                      |                                                                                                                                                                                      | ガイド利用者<br>400人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 420人  | 441人                                                     | 463人  | 486人  |
|                               | 達成指標の成果              |                                                                                                                                                                                      | 116人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 273人  | 410人                                                     | 632人  |       |
|                               | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額 |                                                                                                                                                                                      | 4千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 3千円   | 2千円                                                      | 2千円   | 41千円  |
| 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                      | ・観光交流課が主催する「中山道鶴沼宿秋まつり」の同時開催イベントとして行うことで、より多くの入客を「文化財一斉公開」見学へ誘導することができている。                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |
| 実績・成果                         |                      | ・村国座の年間見学者は460人。昨年度は260人であったことから、コロナウィルスによる見学者の縮小傾向がおさまってきたと考えられる。<br>・「文化財一斉公開」は観光交流課が主催する「中山道鶴沼宿春まつり」の同時開催イベントとして行っている。鶴沼宿周辺の普段は公開されていない文化財建造物を公開し、解説は中山道鶴沼宿ボランティアガイドの会の協力のもと実施した。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |
| CHECK                         | 自己評価                 | 必要性①                                                                                                                                                                                 | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 評価理由  | 見学にガイドによる解説を加えることで、より深く文化財や歴史について理解することができる。             |       |       |
|                               |                      | 必要性②                                                                                                                                                                                 | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       | 市外からも来場者が集まるイベント時に文化財を公開することで、市の歴史や魅力を発信する機会を創出することができる。 |       |       |
|                               |                      | 効率性                                                                                                                                                                                  | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       | 来訪者数が少なく、効率性の面で問題のあった加佐美神社での一斉公開を廃止し、鶴沼宿のみとした。           |       |       |
|                               |                      | 有効性                                                                                                                                                                                  | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       | 見学に対する効果だけでなく、地域人材の活用の点でもメリットがある。                        |       |       |
|                               |                      | 今後の方向性                                                                                                                                                                               | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |       | 現状どおり、文化財所有者や歴史ガイドボランティアと連携し、知己の歴史・文化の発信を行っていく。、         |       |       |
|                               | 外部評価委員の知見            |                                                                                                                                                                                      | ・歴史遺産を大切に、広く市民に周知させるこの事業は、ボランティアの皆さんに支えられている。ボランティアさんに誇りを持ってもらえるようにボランティアさんにも階級を設け、子ども向けのお話（歴史を学ぶ6年生対象）のできる方、高校入試レベルの話のできる方、よりマニア向けの話ができる方の中から聞きたい者が選べるようなシステムになるとより2度目3度目と繰り返し訪れる方が増えると思われる。<br>・将来的には、スマホをかざすと動画が見られたり、更に高度化できればXRで説明が受けられるようになっていくのもおもしろいのではないかと。（特に村国座は舞台を見ると歌舞伎などの演目が見られるようにすると臨場感あって楽しくなると思う。）<br>・ボランティアガイドが高齢化しているそうだが、双方に楽しい事業とのことで、是非とも次世代の方々へも受け継がれるようにして頂けるとありがたい。<br>・PR活動の効果が発揮されることを期待する。<br>・ボランティアガイドの方々の方々の活躍を誇りに思う。年々ガイド利用者が増える中、ボランティアの高齢化が進んでいるため、持続できるよう期待したい。 |       |                                                          |       |       |
| 令和5年度を終えての課題                  |                      | ・令和5年度は、新型コロナウイルスによるイベントの縮小傾向がおさまってきた。村国座の一般や小中学校などによる見学、中山道鶴沼宿秋まつりに合わせて開催される登録有形文化財の「文化財一斉公開」についてボランティアガイドの協力を得て、より一層の充実を図り、幅広いニーズに答えていく必要がある。                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |
| 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                      | ・経常的に掲載している市公式ウェブサイト上の見学案内ページのほか、SNSや広報紙など、これまで活用してこなかった媒体の活用を検討し、さらに幅広いPRを行っていく。                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |                                                          |       |       |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|         |                               |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                                                                         |         |
|---------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------|
|         |                               | 新型コロナウイルスの影響の有無                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 無                |                                                                         |         |
| 事業番号    |                               | 15                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当課名             |                                                                         |         |
| 基本施策    |                               | スポーツ機会の創出                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | スポーツ課            |                                                                         |         |
| PLAN・DO | 事業名                           |                                                                                                                                            | かかみがはらシティマラソン事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                                                                         |         |
|         | 事業目的                          |                                                                                                                                            | 自身の目的に合わせ、楽しく参加できるよう、ジョギングからハーフコースまで様々なコースを設定し、市民の健康の保持・増進を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |                                                                         |         |
|         | 事業内容                          |                                                                                                                                            | ハーフ、10km、3km、ジョギングの部門で開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                  |                                                                         |         |
|         | 達成指標                          |                                                                                                                                            | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 令和3年度            | 令和4年度                                                                   | 令和5年度   |
|         |                               |                                                                                                                                            | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                  |                                                                         |         |
|         |                               |                                                                                                                                            | 参加者数3,500人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  |                                                                         |         |
|         | 達成指標の成果                       |                                                                                                                                            | 中止<br>(申込526人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 中止<br>(申込2,161人) | 2,276人                                                                  | 2,659人  |
|         | 予算・決算額(国県費等)※過年度は決算額          |                                                                                                                                            | 2,620千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2,880千円          | 7,146千円                                                                 | 7,157千円 |
|         | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                                                                                                                                            | ・一次募集で申込者が低迷していたが、二次募集でランネット登録者へのダイレクトメールを実施したことにより申込者数が伸びた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |                                                                         |         |
| 実績・成果   |                               | ・新型コロナが感染症法上の5類に移行したため、コロナ禍前と同規模の開催となり、マラソン当日は天候にも恵まれ大過なく実施できた。<br>・昨年度の定員3000名から500名増の3500名で各コースの定員設定、申込期限の11/24までに定員を満たさなかったため、12/8まで延長。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |                                                                         |         |
| CHECK   | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                                       | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 評価理由             | シティマラソン大会の需要は非常に高く、スポーツ機会の充実にも必要不可欠である。                                 |         |
|         |                               | 必要性②                                                                                                                                       | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 民間組織でも実施できるが、参加料収入に依存する割合が高くなることと現在のところ実施する団体がないため、市(実行委員会)が担うことが妥当である。 |         |
|         |                               | 効率性                                                                                                                                        | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 新型コロナが感染症法上の5類に移行したため、昨年度から500人増の3500人で募集したが全国的なマラソン離れの影響を受け、定員を下回った。   |         |
|         |                               | 有効性                                                                                                                                        | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | スポーツ機会の充実の観点から、費用対効果は高い。                                                |         |
|         |                               | 今後の方向性                                                                                                                                     | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                  | 市民の健康の保持・増進の機会創出の引き続き事業の開催をしていく。                                        |         |
|         | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各機関との連絡調整の煩雑化や人件費等の運営費の増大で中止を余儀なくされた自治体主催のマラソン大会もあると聞く中で本市のシティマラソンが恒久的に続いていくことを切に願う。昨年度の募集の経緯で一次募集で集まらず、二次募集し、工夫して応募が伸びたとのことだが、今年度は二次募集せずとも達成するような働きかけができると良い。</li> <li>・規模が大きい行事のため、準備から当日の運営も大変かと思う。自衛隊による豚汁の提供があったそうで大変ありがたい。出場者、ボランティアの方が身近にいて感想を聞いたがとても良いものだった。マラソン大会が中止となる所もあるようだが、「かかみがはらシティマラソン」ならではの事業を継続してもらいたいと思う。</li> <li>・課題や問題の洗い出しでは、参加者やボランティアの声を聞くことは大切である。</li> <li>・参加者数が多い中、多くのボランティアの協力もあり大会運営がなされた。安全な実施のため、今後も徹底した意思疎通、対策を願う。</li> </ul> |                  |                                                                         |         |
| ACTION  | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                                            | ・新型コロナが感染症法上の5類に移行して初めてのマラソンとなり、コロナ禍前と同規模の企画したが、おおよそ計画通りに遂行できた。交通渋滞対策について警察と何度か協議を重ね、万全を期したつもりであったがまだ周知不足の部分もあった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  |                                                                         |         |
|         | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                                            | ・今年度の大会開催で、課題や問題の洗い出しをし、持続可能でさらに安全な大会を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  |                                                                         |         |



# 令和5年度事業点検・評価シート

|                                 |                               |                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         |                                                        |         |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------|---------|
|                                 |                               | 新型コロナウイルスの影響の有無                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 無       |                                                        |         |
| 事業番号                            |                               | 16                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課名    |                                                        |         |
| 基本施策                            |                               | スポーツ機会の創出                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | スポーツ課   |                                                        |         |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                           |                                                                                                                         | スポーツスクール事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |                                                        |         |
|                                 | 事業目的                          |                                                                                                                         | スポーツを始める機会や生涯にわたってスポーツに親しむ機会となるよう、初心者を対象とした様々な体験スクールを開催する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |                                                        |         |
|                                 | 事業内容                          |                                                                                                                         | 各種スポーツスクールの開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         |                                                        |         |
|                                 | 達成指標                          |                                                                                                                         | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 令和3年度   | 令和4年度                                                  | 令和5年度   |
|                                 |                               |                                                                                                                         | 参加者320人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |         |                                                        |         |
|                                 | 達成指標の成果                       |                                                                                                                         | 176人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 247人    | 219人                                                   | 241人    |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          |                                                                                                                         | 1,256千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1,264千円 | 1,294千円                                                | 1,156千円 |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等           |                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールの受付が終了したら、募集記事をホームページから削除していたが、スクールのワードで常にヒットできるようにするため、次回受付が始まるまで受付終了という形で残すようにした。</li> <li>・応募が少ない種目は、年齢制限を広げたり、逆に応募が多い種目に関しては、定員を超えて受入れて参加者の増数を図った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         |                                                        |         |
| 実績・成果                           |                               | 241人（ホッケー抜き）参加 前期5講座、後期8講座<br>太極拳（一般、前後期2回）、弓道（一般）、ソフトテニス、アーチェリー（一般）、バスケットボール、ラグビー、山登り（一般）、バドミントン、バレーボール、サッカー、ハンドボール、陸上 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         |                                                        |         |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                    | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価理由    | 初心者を対象とした体験型の教室は、非常に需要が高く、スポーツ機会の充実に効果的であるため、必要不可欠である。 |         |
|                                 |                               | 必要性②                                                                                                                    | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         | 広く市民を対象としたスポーツ機会の充実、行政が担う必要性が高い。                       |         |
|                                 |                               | 効率性                                                                                                                     | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         | 多くの参加者があり、事業目的を達成することができた。                             |         |
|                                 |                               | 有効性                                                                                                                     | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         | スポーツ機会の充実の観点から、費用対効果は高い。                               |         |
|                                 |                               | 今後の方向性                                                                                                                  | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         | 市民の健康保持・健康増進の機会創出のため、継続して事業を実施していく。                    |         |
|                                 | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化に伴い、幼少期からのスポーツへのトライアルが重要である。各種スポーツへのいざないを計画的に実施していることをうれしく思うと同時に、今後もより拡充・充実させてほしい。杞憂かもしれないが、スクールを開く側の全てのスポーツ団体には「令和時代のスポーツとの関わり方」をしっかりとレクチャーし、楽しさと敷居の低さをアピールするように指導徹底してほしい。幼保小にはスポーツ少年団へ、小学校高学年から中学生には部活動に、高校生～成人には生涯スポーツにつながる視点で広めてほしい。</li> <li>・昨今スポーツスクール（体操教室）が民営で行われており、スポーツ課主催で年に数回市内2箇所では体操教室を開催されているが、こうした教室もスポーツスクール事業の中に含め、すべてのスポーツの基礎作りの活動と位置づけていったらどうか。</li> <li>・スポーツの人気の差があるようで種目の見直しが必要だが、初心者が楽しんで取り組めるように工夫をしてもらえればありがたい。</li> <li>・誰もが気軽に体験できるように、今後も引き続き努力していただけるとよい。</li> <li>・スポーツ基本法に障がい者スポーツの推進が明文化され、障がい者のスポーツ参加に意義があると思う。障がい者のスポーツ参加は、現状極めて少ないかもしれないが、本事業で関係者の場を設けてほしい。そして、新総合体育館でのスポーツを楽しむための足がかりとしてほしい。</li> </ul> |         |                                                        |         |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                         | ・バドミントンやサッカーなど人気の高い種目もあるが、参加者が少数のため後期に仕切り直した種目もあり種目によって参加者にバラつきが見られる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |                                                        |         |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市スポーツ協会加盟団体の協力を得ながら、応募数の少ない種目に関しては変更を検討する。</li> <li>・各スポーツの競技人口増加に繋げるために、スポーツ協会と連携して取り組む。</li> <li>・幅広く参加ができる事業を目指し、各種団体等へ周知を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |                                                        |         |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                                 |                                             |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                     |          |           |
|---------------------------------|---------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------|----------|-----------|
|                                 |                                             |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           | 新型コロナウイルスの影響の有無                     | 無        |           |
| 事業番号                            |                                             | 17        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           | 担当課名                                | スポーツ課    |           |
| 基本施策                            |                                             | スポーツ施設の充実 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                     |          |           |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                                         |           | 各種スポーツ施設改修等整備事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                     |          |           |
|                                 | 事業目的                                        |           | 利用者が安全かつ快適にスポーツを行えるよう施設・設備の整備に努める。また、現在ある施設の延命化を図り、利便性を向上させることを基本とした整備に取り組む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |           |                                     |          |           |
|                                 | 事業内容                                        |           | 各種スポーツ施設の改修等、整備を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |                                     |          |           |
|                                 | 達成指標                                        |           | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 令和3年度     | 令和4年度                               | 令和5年度    | 令和6年度     |
|                                 | 各種スポーツ施設を安全かつ快適に利用できるよう適切な修繕、維持補修整備工事を実施する。 |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |                                     |          |           |
|                                 | 達成指標の成果                                     |           | 達成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 達成        | 達成                                  | 達成       |           |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額                        |           | 547,594千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 214,092千円 | 74,821千円                            | 48,241千円 | 291,748千円 |
|                                 | 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等                         |           | ・工事や修繕作業について、なるべく利用者が少ない時期に実施するなど、施設利用に配慮しながら事業を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |                                     |          |           |
|                                 | 実績・成果                                       |           | ・令和5年度は、「市民球場1塁側防球ネット嵩上工事」、「市民プール自動制御機器更新工事」、「川島スポーツ公園戸井ポンプ更新工事」等を行い、必要な維持管理及び設備更新を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |           |                                     |          |           |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                                        | 必要性①      | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 評価理由      | 安全かつ快適にスポーツを行うことができる環境づくりのために必要である。 |          |           |
|                                 |                                             | 必要性②      | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           | 公共施設のため、行政が実施する必要がある。               |          |           |
|                                 |                                             | 効率性       | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           | 補助金等を活用し、コスト削減に取り組んでいる。             |          |           |
|                                 |                                             | 有効性       | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           | 必要な改修等を適切に実施する。                     |          |           |
|                                 |                                             | 今後の方向性    | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |           | 引き続き、計画的な整備を実施する。                   |          |           |
|                                 | 外部評価委員の知見                                   |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の各種スポーツ施設の計画的な改修工事について、執行が滞りなく行われていくことを願っている。ただし、計画に無い緊急性の伴う危険箇所や老朽箇所が見つかった時などは後回しにせず、予算を補正して修繕改修に努めてほしい。本事業にある整備では無いが、BMXやロードバイク、スケートボード、カヌー、クライミング施設等、今後市民のニーズが生まれるかもしれないスポーツ施設については調査研究に入っていくと良いのではないかと。</li> <li>・市民プールが30年以上経過して修繕工事がされるようだが、助成金を活用して進められるということでありがたい。</li> <li>・今後も計画的に行っていただけると良い。</li> <li>・令和6年度は、予算が増大しているが、市民プール改修等とのことで、明示をお願いしたい。</li> </ul> |           |                                     |          |           |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                                |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各種スポーツ施設の改修工事を計画的に実施し、緊急事案においては早急に対応する必要がある。</li> <li>・経費については、補助制度を活用する等効率化を図る必要がある。</li> <li>・市民ニーズの把握に努め、施設整備に反映する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    |           |                                     |          |           |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性               |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別施設計画等に沿い、補助事業を活用しながら計画的に改修工事を実施する。緊急事案においては早急に対応する。</li> <li>・市民ニーズを踏まえ、今後の施設整備に反映していく。</li> <li>・令和6年度は、市民プールの老朽化した空調等の各種設備更新工事を実施する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                         |           |                                     |          |           |

# 令和5年度事業点検・評価シート

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新型コロナウイルスの影響の有無 | 無 |
|-----------------|---|

|                                 |                               |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                            |                                                                 |                              |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 事業番号                            |                               | 18                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課名                       | 教育施設整備推進室                                                       |                              |
| 基本施策                            |                               | スポーツ施設の充実                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                            |                                                                 |                              |
| P<br>L<br>A<br>N<br>・<br>D<br>O | 事業名                           |                                                                                                                                                                                                                                    | 新総合体育館整備推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                            |                                                                 |                              |
|                                 | 事業目的                          |                                                                                                                                                                                                                                    | 現在の各務原市総合体育館は、昭和58年に建設したものであり、全体的に施設の老朽化が進んでいる。また、メインアリーナや観客席等に空調設備がないことをはじめ、バスケットボールコートやハンドボールコートが一部の規格に適合していない、各種大会の際に駐車場が不足するといった様々な課題がある。こうした課題を解消し、市民のスポーツニーズに対応するとともに、防災機能を併せ持ち、安全・安心のよりどころとなる新たな総合体育館を整備する。                                                                                               |                            |                                                                 |                              |
|                                 | 事業内容                          |                                                                                                                                                                                                                                    | ・現在の総合体育館がもつ課題を解消する新しい総合体育館を整備する。<br>「誰もが快適に使用でき、健康づくりを楽しむ、にぎわいと交流、安全安心の拠点」を基本方針とし、子どもから高齢者や障がいのある方、スポーツをする人だけでなく、スポーツを見る人や支える人など誰もが快適に利用できる施設とする。また、スポーツ関係だけでなく、レクリエーションや音楽等、文化的な利用にも対応する。さらに、防災拠点としての機能を持たせることで、市民の安全安心のよりどころとなる施設とする。<br>・賑わいや防災の拠点とする観点から、体育館だけでなく敷地全体を総合運動防災公園として整備する。                      |                            |                                                                 |                              |
|                                 | 達成指標                          | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                              | 令和3年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 令和4年度                      | 令和5年度                                                           | 令和6年度                        |
|                                 |                               | 基本構想の策定                                                                                                                                                                                                                            | 基本計画の策定                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 基本計画の策定、測量調査、地質調査、不動産鑑定評価等 | 用地取得、造成設計、造成工事、事業手法の決定                                          | 造成工事、アドバイザー業務（PFI契約の公募資料作成等） |
|                                 | 達成指標の成果                       | 達成                                                                                                                                                                                                                                 | 達成                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 達成                         | 達成                                                              |                              |
|                                 | 予算・決算額（国県費等）※過年度は決算額          | 10,564千円                                                                                                                                                                                                                           | 7,614千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 44,771千円（5,797千円）          | 677,577千円（240,238千円）                                            | 373,567千円（200,429千円）         |
| 前年度の評価委員指摘に対する業務改善等             |                               | ・日本ハムファイターズのエスコンフィールドの事例を参考に、訪れた方のだれもが楽しめる施設にするべきとのご意見について、体育館の利用を体育利用に限定することなく、また、キッズルームや公園施設等、体育利用の方以外の方でも訪れて頂ける施設として計画をしていく。<br>・体育館付近の渋滞緩和についてのご意見について、R5年度末に各務山を縦断する各378号線が開通したほか、郷戸池周辺の道路改良工事の計画があり、交通分散が見込まれる。              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                            |                                                                 |                              |
| 実績・成果                           |                               | ・庁内および市議会との合意の元、事業手法をPFI（BTO一括支払型）に決定した。また、アドバイザー業務を発注し、PFI法に基づく事業契約事務を進めるための準備を整えた。<br>・市の直接取得と土地開発公社による取得により、全ての用地取得を実質的に完了した。<br>・体育館の詳細な仕様について認識共有を図るため、種目協会との意見交換や先進地視察を行った。<br>・事業に関するかわら版を発行するとともに、webサイトにて事業に関する情報を都度発信した。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                            |                                                                 |                              |
| C<br>H<br>E<br>C<br>K           | 自己評価                          | 必要性①                                                                                                                                                                                                                               | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価理由                       | 市スポーツ協会や市議会スポーツ振興議員連盟から要望書が提出されている事業である。                        |                              |
|                                 |                               | 必要性②                                                                                                                                                                                                                               | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                            | 市民スポーツや安全安心の拠点として市で実施しなければ実現しない事業である。                           |                              |
|                                 |                               | 効率性                                                                                                                                                                                                                                | ◎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                            | 関係者のニーズや先進地の良い点を計画に取り入れた。また、より効果的かつ効果的な公共サービスを提供するためPFI手法で実施する。 |                              |
|                                 |                               | 有効性                                                                                                                                                                                                                                | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                            | 事業実施により市民の期待に応えることができる。                                         |                              |
|                                 |                               | 今後の方向性                                                                                                                                                                                                                             | 現状どおり                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                            | 引き続き、市教育委員会の重要事業として実施する。                                        |                              |
|                                 | 外部評価委員の知見                     |                                                                                                                                                                                                                                    | ・完成まで後5年（R11）とのことで、ここまで着実に進んできていることが分かった。今後PFIという事業手法が正解であったと立証され、これが成果であったと後に言えることを願っている。一般市民はそのあたりには疎く、結果として完成した体育館が、いかに市民に使いやすく、また市の財産として次世代に残していけるものであるかに関心が向いている。内容で裏切られることがなく、工期と経費が見通し通りにいくように願う。<br>・引き続き、計画的に行っていたらよい。<br>・障がい者に配慮された計画になっていることを確認した。<br>・計画地南側の東西道路の対応について、通学路であることを念頭に計画されていることを確認した。 |                            |                                                                 |                              |
| A<br>C<br>T<br>I<br>O<br>N      | 令和5年度を終えての課題                  |                                                                                                                                                                                                                                    | ・より効果的かつ効果的な公共サービスの提供を実現するためのPFI手法について、そのメリットを最大限発揮するため、民間事業者との適宜対話を行うなど、適切な公募資料の作成に努める必要がある。<br>・PFI手法では設計以降のスケジュールが民間提案によりフレキシブルに対応できるメリットがある一方、国補助金等については従来通り年度毎申請であるため、その調整を確実に行う必要がある。                                                                                                                      |                            |                                                                 |                              |
|                                 | 課題に対する取組、事業効果向上に向けた次年度の取組や方向性 |                                                                                                                                                                                                                                    | ・公募資料の作成にあたっては、教育委員会だけでなく、市都市建設部や防災対策課等、庁内関係部署の職員にも協力を得ながらより良いものとなるようブラッシュアップを行う。また、継続的に種目協会への聞き取りを行いニーズを反映していく。<br>・国補助金等については関係省庁に都度説明や調整を行いながら確実に進めていく。                                                                                                                                                       |                            |                                                                 |                              |